

声明文

2013 年 12 月 4 日に消費者庁より発表になったレーシック報道について

この度、消費者庁より発表された「600 人を対象としたアンケート調査の 4 割に問題があった」とする根拠はまったく不明瞭であり、このような発表と報道がなされたことを真に遺憾に思います。それほど問題の多い治療であれば、我々眼科医はこの治療を現在のように行っはけません。レーシックの安全性および有効性については、多くの眼科雑誌で報告されており、当会サイトでも代表的なレビューを紹介しています。

確かに、モラルを欠いた非常識な医師（銀座眼科の例）によるずさんな治療や、インターネットで安価な治療を提示して薄利多売的な事業を行っている施設による治療の質には我々も問題と考えており、十分に注意をしていただきたいの思いから、情報提供・啓発に取り組んでいます。

しかし、レーシック手術そのものが危険を伴うものととれる発表と報道は、現在の科学を否定し、時代の流れに逆行するものです。海外で一般的に行われている治療が、日本では受けられない、といった不自然な状況を生み出すものと危惧します。

このような科学的裏付けの評価を得られないデータ（母集団が不明、重複回答の可能性あり）を発表した消費者庁の行いは、消費者庁の存在価値を揺るがす重大な問題と考えます。これは例えるならば、飛行機の事故に遭った人達にアンケート調査を行い、「こんなにたくさんの人が事故に遭っています。飛行機は危険な乗り物ですので、飛行機で出かけるかどうかはよく考えましょう」というものと同じです。

レーシックは眼科医療技術ですので、目の医学について十分な知識があり臨床経験を積んだ眼科専門医による診断をまずは受けていただくことが重要です。

安心 LASIK ネットワークでは、レーシックを安全に受けていただくための『安心の条件』と、レーシックを受ける前の『10 のチェックリスト』を提示しています。

メガネやコンタクトレンズを快適に使用でき、とくにそれを外したいと思わない人は手術を受ける必要はありません。メガネやコンタクトレンズが自分のライフスタイルや目の状態に合わないなど、裸眼の生活を望まれる方にとって、



レーシックは有効な選択肢となります。その時は、安全に眼科医療として眼科専門医のもとでレーシックを受けていただきたいと願っています。

安心 LASIK ネットワーク 眼科医師 一同

問い合わせ先
安心 LASIK ネットワーク 事務局
中林貴美子
東京都港区赤坂 8-5-40-513
TEL:03-5775-2075 FAX:03-5775-2076
Email:inquiries@safety-lasik.net